

<参考抄訳>

AIG は、1株当たり0.10ドルの普通株式配当を発表 取締役会は、上限10億ドルの普通株式の買い戻しを承認

ニューヨーク、2013年8月1日ーアメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）（「AIG」）は、本日、取締役会が下記の決議を行ったことを発表しました。

- 1株あたり額面価額2.50ドルのAIG普通株式（「AIG普通株式」）に対し、1株当たり0.10ドルの四半期配当を発表しました。配当は2013年9月26日（木）に、2013年9月12日（木）の営業終了時刻の時点での登録株主に対し、支払われます。
- AIG普通株式を、先物、デリバティブ、加速型買い戻し、自動買い戻し取引またはその他の手段を通じ、買戻額総額の上限を10億ドルとして公開市場または私的購入において随時買い戻すことを承認しました。

AIGの取締役会会長であるロバート・S・ミラー氏は、以下のように述べました。

「AIGは、目覚ましい回復に成功してきました。我々は、我々の回復の一環として、これらの決議を通じて我々が収めた成功の一部を株主に直接還元できるほどの十分な自己資本を得たことを喜ばしく思っています。米国に対し全ての債務を返済し利益をもたらしたことに加え、AIGは引き続き堅実な経営判断を行い、AIGの事業を成長させる機会を活発に追求し、明確な指揮命令系統の下でグローバル事業を合理化し、最良の人材を育成および確保することによって、当社の将来を確固たるものにしてまいります。」

AIGの社長兼CEOであるロバート・H・ベンモシエ氏は、配当に関する決議および買い戻しの承認について以下のように述べました。「AIGは、3年前とは根本的に異なる、よりシンプルな会社となりました。我々は、配当を発表し、新たな株式買い戻し計画を確立できるような立場にいることを大変喜ばしく思っています。我々の主な目標は、AIGの将来性を実現することです。我々は、我々の厚みのあるグローバル事業へ投資してきたこと、我々が提供する商品およびサービスに対する市場の需要ならびに我々の投資ポートフォリオにおける堅調な業績を反映する、本年度における優れた業績によって、かかる目標を達成し始めています。我々は、成功を積み重ね、新たなAIGが成し遂げ得ることを示すことに尽力いたします。」

本プレスリリースには「将来の見通し」に関する記述が含まれています。かかる将来の見通しに関する記述は、過去の事実ではなく、将来の事象に関するAIGの見解を表しているにすぎません。その多くは性質上、本質的に不確実なものでありAIGの制御可能な範疇を超えています。実際の結果が当社の将来の見通しに関する記述と著しく異なるものとなる可能性のある要因は、1934年米国証券法に基づき定期的にAIGによってSECに提出される報告書等において記述されています。

#